

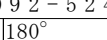
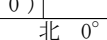
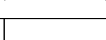
ボーリング柱状図

調 査 名 青果部3市場（西部市場）中継所新築工事地質調査業務委託

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 1			調査位置	福岡市西区石丸4丁目3番1号						北緯	33° 34' 13.87"		
発注機関	福岡市財政局 アセットマネジメント推進部				調査期間	平成28 年 2月 3日 ~ 28年 2月 8日					東経	130° 18' 53.59"		
調査業者名	三和地研株式会社 電話 (092-524-2460)			主任技師	中尾 利之		現場代理人	三角 富男	コ 鑑 定 者	三角 富男	ボーリング責任者	吉村 靖幸		
孔口標高	KBM +0.45m	角 上 下 度		方 向		地盤勾配 鉛直 90°		使用機種	試錐機	YBM 05DA-2		ハンマー落下用具	半自動	
総掘進長	33.00m								エンジン	ヤンマーNFD9-E		ポンプ	YBM GP-5	

標 尺	標 高	層 厚	深 度	柱 状 図	土 質 区 分	色 対 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位(m)／測定月日	標 準 貫 入 試 験					原 位 置 試 験		試料採取		室内試験(月日)	掘 進								
											深 度	10cmごとの打撃回数			打撃回数／貫入量	値	深 度	試 験 名 および結果	深 度			試 料 採 取 方 法							
												0	10	20									深 度	試 料 番 号					
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	事		(m)	10	20	30	(cm)	0	10	20	30	40	50	60	(m)		(m)	号	法	(月日)	
	0.25	0.20	0.20		表 土	黒～緑灰			アスファルト舗装部。アスファルトは厚さ0.05m 0.05～0.20m間は、φ10～30mm位の碎石	2/4 3.30 2.5 4.00	1.65 1.95	2 1	3 1	8 30	8								1.50			試掘			
1	-0.55	0.80	1.90		盛土(礫混じり砂)	黄 褐			マサ土を主材料にした盛土で、中～粗砂主体 φ30mm位の花崗岩質礫混入	2.15 2.50 3.15	1 1 1	1 1 1	30 35 35	2									1.50						
2	-1.35	0.60	1.80		粘土	黒灰			旧表土の農耕土、腐植物混入	3.50 4.15	4 4	4 5	13 30	13															
3					砂質粘土	暗茶褐			均質な粘土で、腐植物混入	4.45 5.15	2 2	2 2	6 30	6															
4	-3.25	1.70	3.70		砂	暗灰			旧農耕土の細砂質粘性土で、不均質含水量やや多い。 花崗岩土粒子の粗砂主体	5.45 6.15	4 4	4 4	12 30	12															
5					砂混じり粘土	暗 灰		非常に軟らかい	細砂混じり粘性土で、含水量多く軟質 2～3m付近は、粘性強い	6.45 7.15	3 4	4 6	13 30	13															
6	-6.15	2.90	6.60		砂	暗 灰	中ぐらい		淘汰された粗砂主体 5.0m付近細粒分含む 石英粒多く含む 雲母片含む	7.45 8.15	5 4	4 3	12 30	12															
7	-7.35	1.20	7.80		礫混じり砂	暗 灰	中ぐらい		粗砂主体 礫は最大30mm位の円礫 細粒分含む、含水量も多い φ2～30mmで、φ10～20mm位の亜角礫が主体 礫間は粗砂 含水量多い	8.45 9.15	6 5	5 7	18 30	18															
8					砂 礫	灰～緑灰	中ぐらい			9.45 10.15	3 5	5 5	13 30	13															
9	-10.35	3.00	10.80						表面は低固結状であるが、指圧で容易に潰れる 粘土混じり中～粗砂状となる 12m付近は粘土化著しく、含水量も多い 13m付近は、岩組織が認められるものの軟質 14m付近は粘土化して含水量も多い	10.45 11.15	2 3	2 2	7 30	7															
10										11.45 12.15	4 5	5 5	14 30	14															
11										12.45 13.15	6 6	6 7	19 30	19															
12										13.45 14.15	7 10	12 29	29 30	29															
13										14.45 15.15	6 11	7 24	24 30	24															
14										15.45 16.15	6 4	7 17	30 30	17															
15										16.45 17.15	9 8	12 29	29 30	29															
16										17.45 18.15	7 7	10 24	24 30	24															
17										18.45 19.15	6 10	14 30	30 30	30															
18										19.45 20.15	10 10	13 33	33 30	33															
19										20.45 21.15	5 11	8 24	24 30	24															
20										21.45 22.15	13 13	14 40	40 30	40															
21										22.45 23.15	11 14	19 44	44 30	44															
22										23.45 24.15	22 25	3 50	50 21	71															
23										24.36 25.15	10 12	11 33	30 30	33															
24										25.45 26.15	10 17	19 46	46 30	46															
25										26.45 27.15	9 7	6 22	22 30	22															
26										27.45 28.15	12 15	12 39	39 30	39															
27										28.45 29.15	6 6	10 22	22 30	22															
28										29.45 30.15	10 20	20 50	50 23	65															
29	-29.25	18.90	29.70							30.38 31.15	31 19	2 50	50 12	125															
30					風 化 花 崗 岩	褐～褐灰			30m付近、褐色化が著しく、マサ状を呈する	31.27 32.15	29 16	5 3	50 23	65															
31									31.0m以深は、低固結状で岩組織が認められるものの、手で容易に割れる。	32.38 33.15	19 28	3 50	50 21	71															
32	-32.55	3.30	33.00							33.36																			
33																													

- ・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があります、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
- ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。